

第8章 環境保全

環境汚染発生状況

(1) 環境汚染の種類別発生件数

平成17年度の畜産環境汚染の発生は、13件と前年に比べ6件減少した。原因別では「悪臭発生」が最も多く、発生件数全体の54%を占める。

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	15年度	16年度	17年度
悪臭発生	43	52	14	14	10	7
水質汚濁	25	19	1	4	5	4
水質・悪臭	11	8	2	3	3	0
悪臭・害虫	16	6	2	0	1	2
害虫発生	21	19	0	0	0	0
その他(流出)	5	7	0	0	0	0
計	121	111	19	21	19	13

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

(2) 畜種別発生件数

畜種別に見ると豚が7件と最も多く、次いで鶏が4件となっている。

畜種別合計

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	15年度	16年度	17年度
豚	65	50	9	9	11	7
乳用牛	30	25	0	2	0	1
肉用牛	4	5	1	0	2	1
採卵鶏	21	23	9	10	6	2
ブロイラー	1	1	0	0	0	2
その他(馬)	0	7	0	0	0	0
計	121	111	19	21	19	13

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

飼養規模別件数(畜種別合計の平成17年度内訳)

		悪臭発生	水質汚濁	水質・悪臭	悪臭・害虫
豚	1～49頭	2			
	50～499頭	1	1		
	500～999頭	2			
	1,000頭以上		1		
牛	1～19頭				
	20～29頭				
	30～49頭				
	50～99頭	1			
	100頭以上		1		
採卵鶏	1～4,999羽				
	5,000～9,999羽				
	10,000羽以上				2
ブロイラー	1～9,999羽				
	10,000～29,999羽	1			
	30,000～49,999羽				
	50,000～99,999羽				
	100,000羽以上		1		
計		7	4	0	2

資料：県畜産課調査